

企業版ふるさと納税寄附金に係る感謝状贈呈式

日時：令和6年7月19日（金）15：00～15：30

場所：倉吉市役所本庁舎4階市民応接室

次 第

1. 開会

2. 出席者の紹介・趣旨説明

3. 寄附者挨拶

株式会社チュウブ 代表取締役社長 小柴雅央 様

4. 感謝状贈呈

5. 倉吉市長謝辞

倉吉市 市長 広田一恭

6. 記念撮影

7. 閉会

倉吉市制70周年記念 倉吉ふるさとムービー

ありがとう

大好きなまち

夢をつかんでもう一度帰ってくるまち

わたしのまち くらよし

中村 守里 生方 和代

広田一恭 田中響 田久保宗稔 尾崎友作 毛利徳敬

片岡鶴太郎（特別出演）

脚本・監督：羽原大介

プロデューサー・編集：沼田通嗣

5月30日ふるさとムービー特設サイト公開 ▶ <https://www.city.kurayoshi.lg.jp/furusato-movie/>



地方に暮らす家族の絆と愛情を描いたストーリー

地方都市“倉吉”に住みながら、都会で俳優になる夢を密かに抱く花子。夫に先立たれ、一人で飲食店を営みながら花子を育てる母。ある日、花子のスマートフォンに東京での最終オーディションへの合格通知が届く。母は花子の決断に反対し、「勝手にしなさい」と花子に冷たく伝える。花子は一人で東京へ行く決心を固める。出発の日、母から渡された弁当を食べながら、家族の愛情を感じて涙する花子……。花子の夢は叶うのか。母の本当の思いは……。家族やまちの支えを胸に新たな一歩を踏み出す花子。



[羽原大介氏(脚本・監督)コメント]

■ 物語の起点は、かつて私が倉吉駅から寝台特急『出雲2号』に乗り込み東京に旅立った経験、芸能の世界で学び成長させてもらった日々の思い出です。その骨に主演の中村守里さん、生方 和代さん、片岡鶴太郎さんら俳優部が熱い血肉を通わせ、丈夫で力強いドラマに育てていただきました。

企画からお付き合いくださった沼田プロデューサー始め、宮崎撮影監督ら優秀なスタッフに敬意と感謝をお伝えすると共に、ふるさと納税で支援してくださった株式会社チュウブ様、ロケ場所を提供してくださった皆さん、荒天の中お集まりいただいた田中響先生を始めとするボランティアエキストラの皆さん、撮影場所探しに奔走し撮影中は黙々と人止め車止め、ロケバス運転手まで担ってくださった毛利さん片岡さんを始めとする倉吉市役所の皆さん、宿泊の手配をしてくださった NPO 法人未来の岸田寛昭さん、衣装・小道具を集め

てくださった山田美鈴さん、舞台フラガール 23 の皆さんにも心からお礼申し上げます。本当にありがとうございました。(広田市長の演技に関するコメントはここでは控えさせていただきます笑)

この作品が倉吉で暮らす皆さんのふるさと再発見の機会となり、倉吉にゆかりのある方々、これから訪れてみようと考えていらっしゃる方々の背中を押し、倉吉市の明るい未来への一助となることを心より願っております。

羽原大介(はばらだいすけ) 脚本家

1964 年鳥取県倉吉市生まれ。日本大学芸術学部

大手芸能プロのマネージャー職を経て、つかこうへいに師事。

運転手兼大部屋俳優の修業時代の後、1992 年脚本家デビュー。

主な執筆作品に『パッチギ!』『フラガール』、テレビドラマ

『マッサン』『ちむどんどん』(NHK 連続テレビ小説)『黒革の手帖』

『白い巨塔』(テレビ朝日)『トリリオンゲーム』(TBS)。映画『パッチギ!』

『フラガール』で2年連続日本アカデミー賞優秀脚本賞受賞。演劇ユニット羽原組を主宰し同ユニットでは演出も担当。

現在愛媛坊ちゃん劇場にてミュージカル『KANO』ロングラン上演中。今年8

月松竹新橋演舞場にて『カルメン故郷に帰る』上演予定。10 月赤坂レッドシア

ターにて羽原組『フラガール』上演予定。来年映画『トリリオンゲーム』全国公開

予定。



ありがとう

中村 守里 生方 和代 片岡鶴太郎(特別出演)

広田一恭 田中響 田久保宗稔 尾崎友作 毛利徳敬

脚本・監督:羽原大介 プロデューサー・編集:沼田通嗣 アシスタントプロデューサー:毛利徳敬 片岡彩子

製作担当:新井静流 ドローン撮影:伊藤秀行 技術プロデュース:会田正裕 撮影:宮崎吾郎 岩田憲 田村翔

撮影助手:中津愛 ライン編集:古俣裕之 MA:大塚慎之 選曲効果:片野正美

協力:一般社団法人倉吉観光 MICE 協会 西日本旅客鉄道株式会社鳥取鉄道部 倉吉商工会議所 伊藤企画 岸田寛昭(特定非営利活動法人未来
藤井俊彦(倉吉市体験型教育旅行誘致協議会) 山田美鈴 新日本海新聞社中部本社 企業版ふるさと納税:株式会社チュウブ